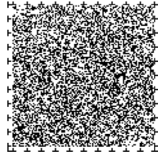


その他



◇ 広報紙「市政はこだて」

市では毎月1回、広報紙「市政はこだて」を発行し、宅配で市内全世帯にお届けしています。
目の不自由な方（主として視力障がい1級・2級の方）には、点字版、または、録音版・デジ
ジー版を郵送でお届けしていますので、ご希望の方は広報広聴課（☎ 21 - 3631）までご連絡く
ださい。

◇ ラジオ・テレビ広報

市では、ラジオ・テレビ番組を通して、市政ニュースやお知らせを放送しています。
また、ケーブルテレビNCVでも市政情報をお知らせしています。

- ・HBCラジオ（番組名－市民の時間）毎週月曜日から金曜日の午前10時50分から5分間
- ・FMいるか（番組名－市政だより）毎週月曜日から金曜日の午前8時20分から5分間
午後5時40分から5分間
（毎週木曜日のみ5分間延長）
- ・STVテレビ（番組名－函館市民ニュース）毎週土曜日の午前11時35分から5分間
- ・ケーブルテレビNCV（データ放送）
NCV（111）を選局し、リモコンのdボタンを押し、「行政からのお知らせ」をお選び
ください。

◇ 函館市公式LINE

市では、LINEアプリを通じて、災害情報やイベント情報など様々な市政情報を登録者へ発
信しています。

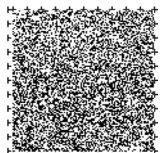
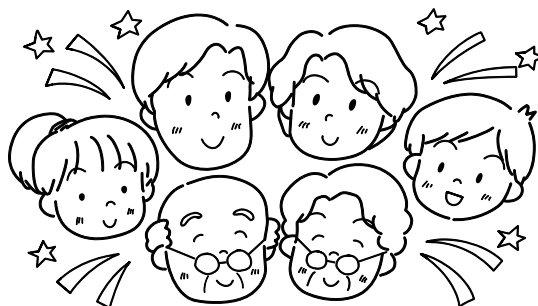
また、携帯端末の画面上に表示されるメニューをタッチしていくことで、知りたい情報を会話
形式で調べることができるほか、オンライン申請や施設予約などを行うことができます。

登録を希望する場合は、LINEアプリで「函館市」と検索し、友だち登録をしてください。

◇ その他

市では、市長記者会見に手話通訳を配置し、その様子をYouTubeの市公式動画チャンネルで
生配信しています。

(<https://www.youtube.com/channel/UCzuoycG58kXrfWPfjDcFP2Q>)



【表紙の絵】

《ベートーヴェン》（1770年～1827年）

ドイツの作曲家。ピアノの教授をして生計をたてながら次々に名曲を送り出した。しかし、作曲家にとって致命的ともいえる耳の障がいが徐々に進行。一度は死をも決意したが、やがてその苦しみを克服した。この強い精神力がダイナミックな彼の作曲の基調となっている。

《野口 英世》（1876年～1928年）

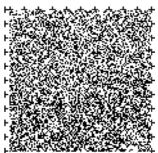
細菌学者。福島県生まれ。1歳半の時に左手に大やけどを負い不自由となる。しかし、周囲のあたたかい援助と、人一倍の努力によって医師となり、伝染病の研究に輝かしい業績を残した。

《ロートレック》（1864年～1901年）

フランスの画家。13歳の時に左足を、14歳の時に右足を骨折して以来、下半身の成長が止まった。しかし、障がいにめげず冷酷なまでの観察力と、鋭く風刺的なデッサン力で、ポスター芸術・版画に独創性あふれる作品を多数残した。

《ヘレン・ケラー》（1880年～1968年）

アメリカの女性福祉実業家。1歳半で熱病のため目と耳の感覚を失う。7歳から家庭教師サリバンの献身的な教育を受け、視覚・聴覚・言語の障がい乗り越え、福祉事業に力を尽くした。「あなたのランプの灯をいま少し高く掲げて下さい。体の不自由な人びとのゆくてを照らすために」という言葉は有名。



障がい福祉のしおり

発 行 函館市

編 集 函館市福祉事務所障がい保健福祉課

〒040-8666 函館市東雲町4番13号

☎21-3263 FAX27-2770

E-mail:fukushi-shougai@city.hakodate.hokkaido.jp

印 刷 龍文堂印刷株式会社

※ 函館市ホームページ上に「障がい福祉のしおり」のPDFデータを掲載しています。

函館市ホームページ
<https://www.city.hakodate.hokkaido.jp/>

